

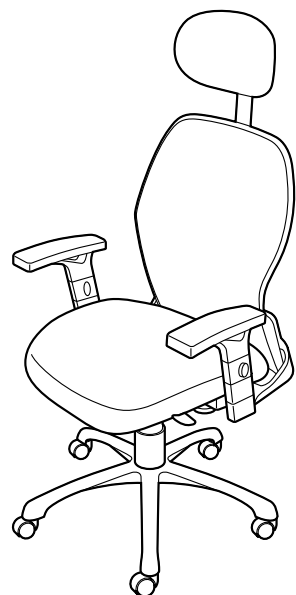
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。  
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。  
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も  
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に  
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

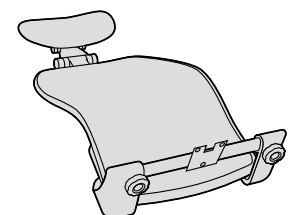
★用意していただくもの・・・

手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

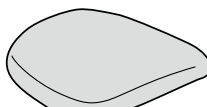


## 組立て部品

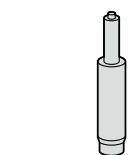
※部品の欠品や破損があった場合は、  
品番(150-SNC097など)と下記の部品番号(①～⑬)  
と部品名(六角レンチなど)をお知らせください。



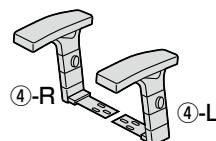
① 背もたれ×1個



③ 座面×1個



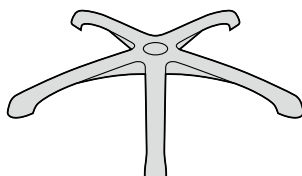
⑥ ガスシリンダー×1本



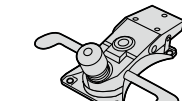
④-R ④-L  
④ 肘あて×左右一組



⑦ シリンダーカバー×1個



② レッグフレーム×1個



⑤ 座面ブラケット×1個



⑧ キャスター×5個

## ボルトセット



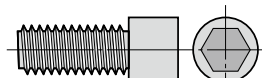
⑨ 六角レンチ (5mm) × 1本



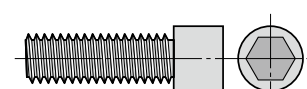
⑩ ワッシャー×7枚



⑪ ノブボルト×2本

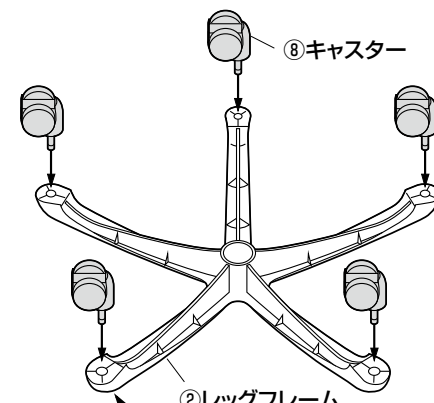


⑫ ボルトA×3本 (M8×18)



⑬ ボルトB×4本 (M8×24)

## 1 レッグフレームをひっくり返し、 キャスターを取付けます。



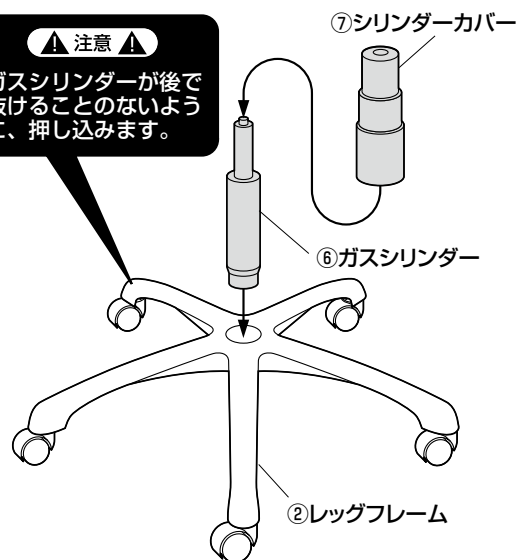
⚠ 注意 ⚠

それぞれのキャスターは全て圧入式  
です(手で差し込む)。  
奥まできちんと差し込んでください。

## 2 レッグフレームにガスシリンダー とシリンダーカバーを取付けます。

⚠ 注意 ⚠

ガスシリンダーが後で  
抜けることのないよう  
に、押し込みます。



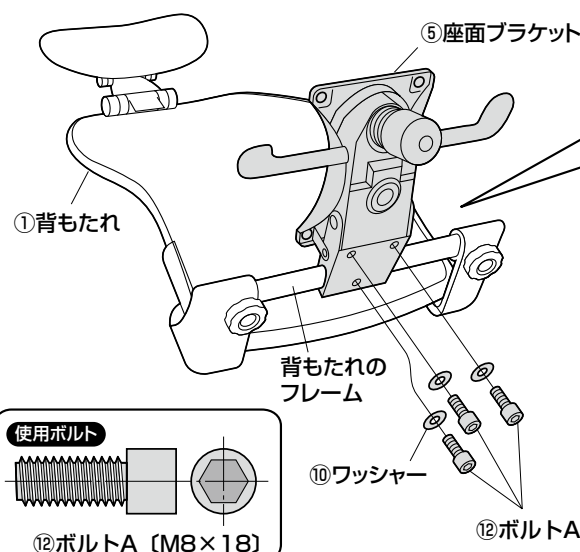
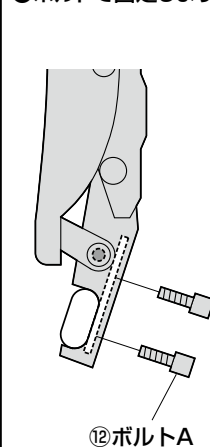
## 3 背もたれに座面ブラケットを取付けます。

### 横から見た図

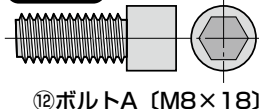
① 背もたれのフレームに  
座面ブラケットを差し  
込みます。



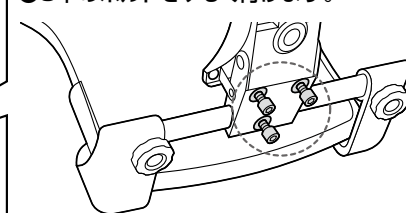
② ボルトで固定します。



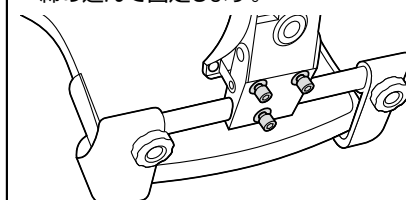
使用ボルト



① 3本のボルトをゆるく付けます。



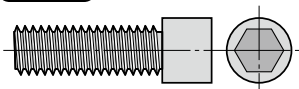
② すべてのボルトを均等に少しずつ  
締め込んで固定します。



4

座面を取付けます。

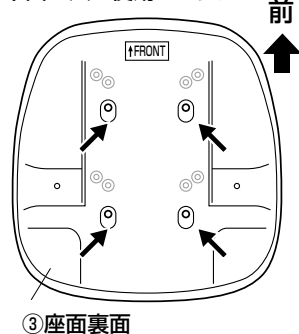
使用ボルト



⑬ボルトB (M8×24)

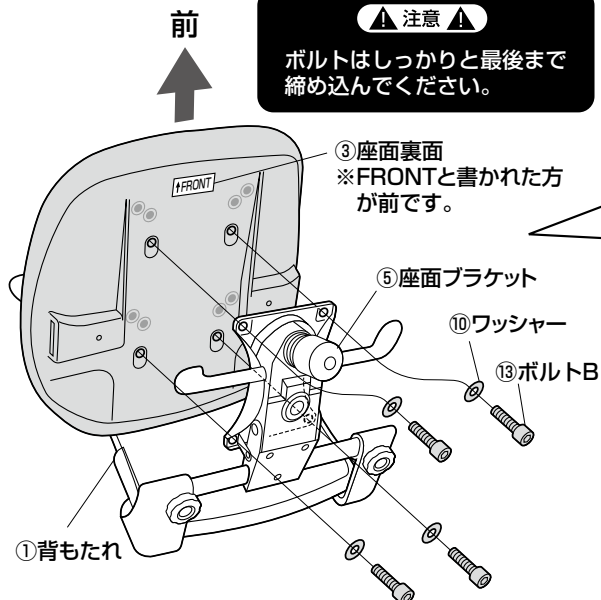
下から見た図

下図の穴を使用します。



③座面裏面

前 ↑



▲ 注意 ▲  
ボルトはしっかりと最後まで  
締め込んでください。

③座面裏面  
※FRONTと書かれた方  
が前です。

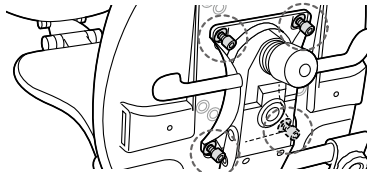
⑤座面ブラケット

⑩ワッシャー

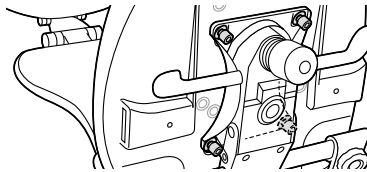
⑬ボルトB

①背もたれ

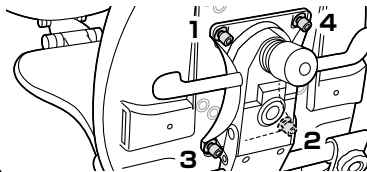
①4本のボルトをゆるく付けます。



②すべてのボルトを均等に少しずつ締め込みます。



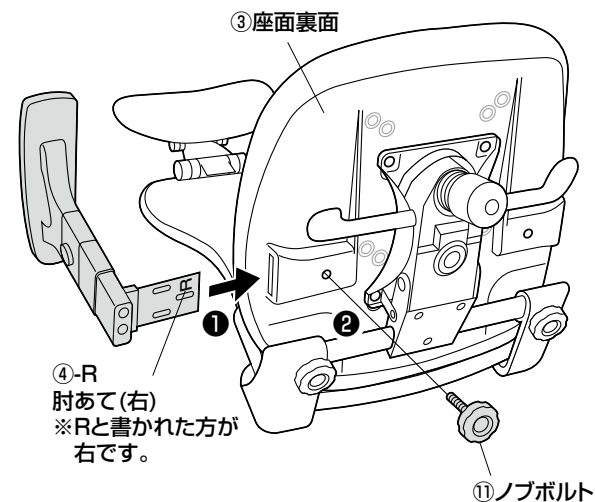
③最後に下図の1,2,3,4の順にきつく締めつけます。



5

肘あてを取付けます。

肘あて(右)を座面に差し込んでからノブボルトで固定します。



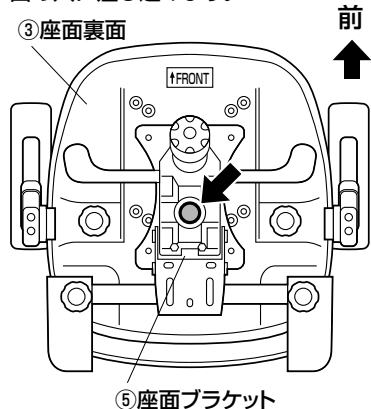
※同様に肘あて(左)も取付けます。

6

座面ブラケットにガスシリンダーを差し込んで完成です。

下から見た図

下図の穴に差し込みます。



③座面裏面

前 ↑

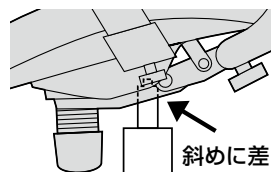


③座面

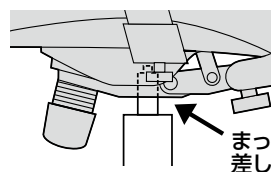
⑥ガスシリンダー

▲ 注意 ▲

座面ブラケットをガスシリンダーにまっすぐ  
奥まで差し込んでください。  
座面ブラケットが斜めに差し込まれている  
と、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが  
正常に作動しない場合があります。

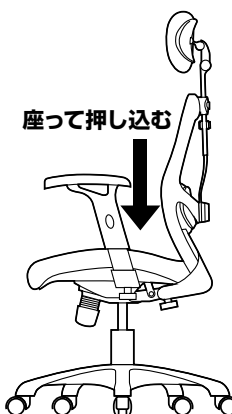


斜めに差し込まれている

まっすぐ奥まで  
差し込まれている

最後に

※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、  
座面にしっかり体重をかけてください。



座って押し込む

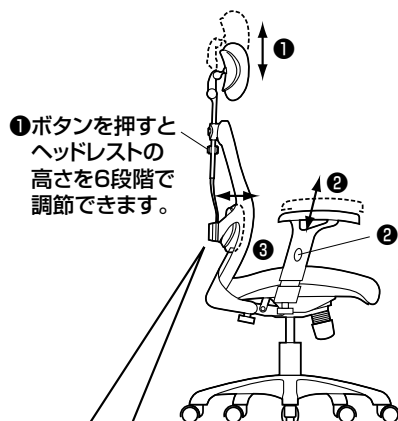
※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。  
※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。  
※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。  
※固定が不十分ですと、チェアを持ち上げた時にレッグフレームが抜け落ちる場合があります。

## 各部の調節方法



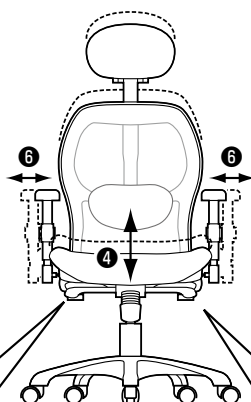
注意

レバーを回転させてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面プラケットを差し込み直してください。

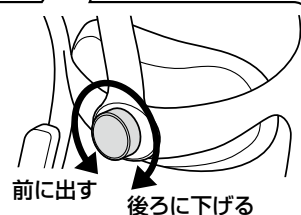
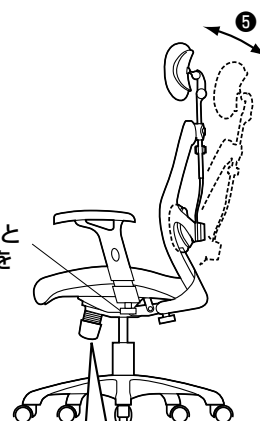


① ボタンを押すとヘッドレストの高さを6段階で調節できます。

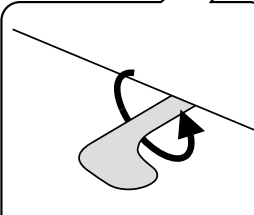
② ボタンを押すと肘あての高さを5段階で調節できます。



⑥ ノブボルトを緩めると肘あての左右位置を調節できます。



③ 背もたれのツマミを回すとランバーサポートの前後位置を調節できます。



④ レバーを矢印の方向へ回転させると座面の高さ調節ができます。

ロック可能

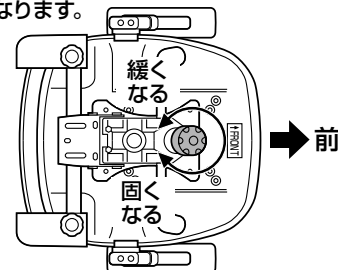


角度固定

⑤ ロッキング中にレバーを下方方向に回転させると背もたれの角度を4段階で固定することができます。  
※ ロッキングさせた背もたれを元に戻す時は、再度荷重をかけてください。

## 下から見た図

下から見て、ツマミを時計回りに回すとロックが固くなり、反時計回りに回すと緩くなります。



## チェアの品質表示

構造部材：座部・背もたれ部/スチール、ポリプロピレン  
脚部/スチール キャスター部/ナイロン  
張り材：ポリエステル クッション材：ウレタンフォーム

## 使用上の注意

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
- 滑りやすい床面で使用しないでください。
- 用途以外で使用しないでください。
- 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
- ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
- 座面の上に登らないでください。転倒の原因になります。
- 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
- 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
- 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3～4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
- 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
- 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。

※ 以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。